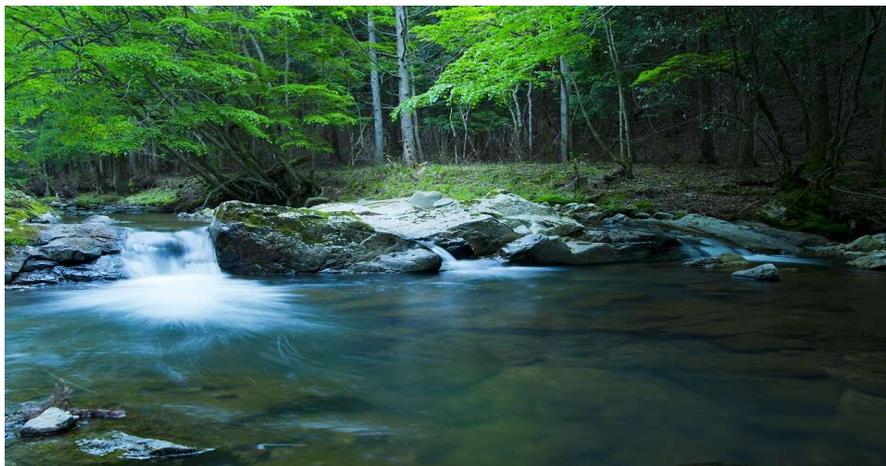


環境経営レポート

【レポートの対象期間：2023年9月～2024年 8月】

国際油圧株式会社



《ご挨拶》

国際油圧株式会社は1973年創業以来、油圧関連部品装置製造販売及び現地工事メンテナンス工事のエンジニアリング工事会社として歩んでまいりました。自動車テスト用各装置をはじめ各方面におけるメンテナンス工事会社として信頼される企業を目指しております。企業の規模も拡大の方向にあり、変革は環境にも与える影響が大きい事を受け止め、次頁の環境経営方針を基に環境経営計画を展開し地球環境に優しい企業として環境への配慮も企業活動の大きな役割として捉え新たな一歩を歩み出しました。以下「環境経営レポート」としての取り組みをまとめましたので、私たちの取り組みをご高覧の上、ご指導、ご指摘をいただき次の環境経営活動に生かして行きたいと存じます。

国際油圧株式会社
代表取締役
森 繁行

《目次》

1. 環境経営方針	P-1
2. 事業活動の規模	P-2
3. EA21推進体制	P-3
4. 環境経営目標とその実績	P-4
5. 環境経営計画の取組と評価	P-5
6. 環境関連法規制の遵守	P-6
7. 代表者による全体の評価と見直し	P-6

1. 環境経営方針

〔基本理念〕

国際油圧株式会社は、豊かな地球環境を次世代へ継承することが、人類共通の重要な課題であることを認識し、事業活動のあらゆる面で、地球環境への影響を考慮し地球環境の保全や改善に繋がるような活動を活動を行う事に努めます。

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます。

1. 環境保全活動を推進する為に、環境経営マネジメントシステムを構築し環境保全レベルの向上に努めます。
2. 事業活動によって環境に与える影響を正しく認識し、環境経営目的・環境経営目標を定めて継続的な改善と汚染の予防に努めます。
3. 環境に関する法律、規制、協定及び組織が認める外部からの要求事項を遵守するように努めます。
4. 当社が行う事業活動で環境に影響を与える中で、次の事項を重点にテーマとして取組みます
 - ①社用車使用削減など経費削減
 - ②エネルギー及び資源使用量削減
 - ③廃棄物排出量の削減
 - ④環境負荷物質の削減
5. 全従業員に対し環境経営方針の周知徹底に努め、環境保全に対して個々の意識向上を図るように努めます。
6. 環境経営方針は文書化し、一般にも公開します。

2018年 8月 20日

国際油圧株式会社
代表取締役 森 繁行

2. 事業活動の規模

1. 事業所及び代表者名

国際油圧株式会社
代表取締役社長 森 繁行

2. 所在地

〒336-0018 埼玉県さいたま市南区南本町2-21-4

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役社長 森 繁行
環境管理責任者 : 森 繁行
担当 : EA21事務局 浜島美智乃
TEL : 048-822-2524
FAX : 048-822-0229

4. 対象範囲

国際油圧株式会社 全組織及び全活動

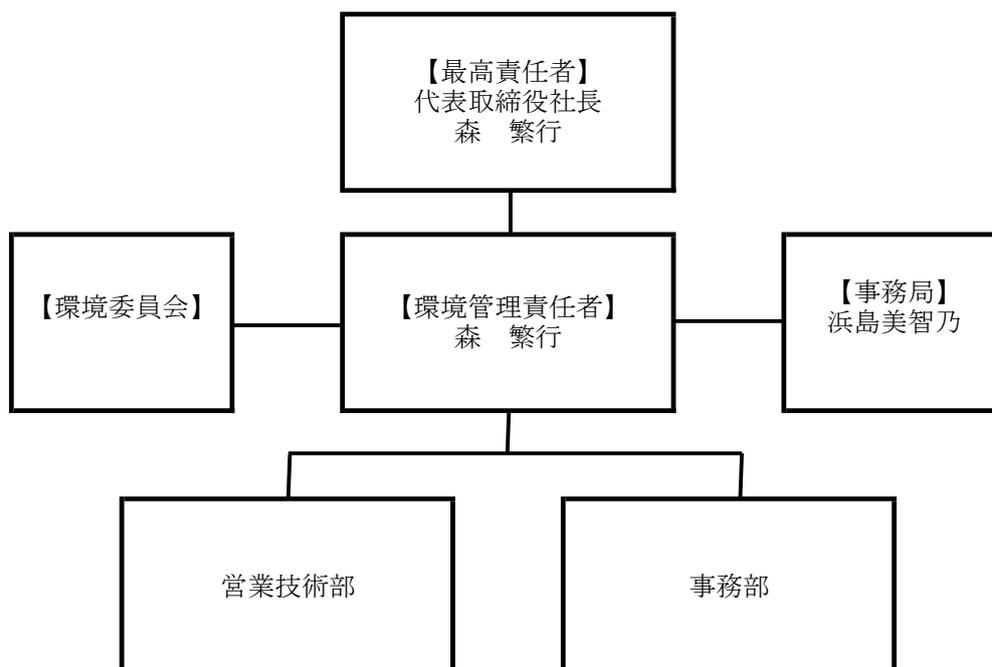
5. 事業の内容

油圧関連部品、装置製造販売

6. 事業規模

活動規模	単位	2023年	2024年
従業員数	人	3	3
延べ床面積	m ²	53	53

3. EA21推進体制



職名	役割
最高責任者	【代表取締役 森 繁行】 ①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③環境経営方針を制定する。 ④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境経営目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	【代表取締役 森 繁行】 ①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	【浜島美智乃】 ①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、環境管理責任者が召集する。環境経営目標の設定、環境経営計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

4. 環境経営目標とその実績

当社に於ける2023/9/1～2024/8/31の環境負荷実績を把握し、
2025年～2026年迄の目標を下記の通り定め活動を開始しました。

1. 環境経営目標とその実績

* 購入電力の排出係数は、0.459kg-co₂/kwh [R4年度実績・R5. 12. 22日環境省・経済産業省公表] を使用しています。

環境経営目標	基準値	今年度目標				1年後の目標	中長期の目標 (2年後)
	2023年	2024年(2023年9月～2024年8月)				2025	2026年
	実績	目標	目標値	実績	目標の達成状況	目標	目標
①二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂) (電力使用)	2688.04	2023年実績に対して1%削減	2661.16	2689.28	目標に対して1.06%の増加	2024年実績に対して1%削減	2025年実績に対して1%削減
②二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂) (ガソリン)	3539.05	2023年実績に対して1%削減	3503.66	3411.40	目標に対して2.63%の削減	2024年実績に対して1%削減	2025年実績に対して1%削減
二酸化炭素排出量合計(kg-CO ₂)	6227.09	2023年実績に対して1%削減	6164.82	6100.68	目標に対して1.04%の減少	2024年実績に対して1%削減	2025年実績に対して1%削減
③廃棄物排出量の削減(Kg)	102.74	2023年実績に対して1%削減	101.71	114.77	目標に対して12.84%の増加	2024年実績に対して1%削減	2025年実績に対して1%削減
④水使用量の削減(m ³)	56.0	2023年実績に対して1%削減	55.4	38.0	目標に対して31.4%の減少	2024年実績に対して1%削減	2025年実績に対して1%削減
⑤本業に関する目標	—	管理の徹底 不良在庫の削減	—	管理の徹底	環境、省エネを考慮した製造販売を心掛ける	売上増加 経費削減	売上増加 経費削減

* 化学物質については、使用していないので目標設定していません。

2. 主な環境負荷実績

環境への負荷	2022年9～2023年8	2023年9～2024年8
①二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)電力	2688.04	2689.28
②二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)ガソリン	3539.05	3411.4
③廃棄物排出量(Kg)	102.74	114.77
④水資源投入量(m ³)	56	38

5. 環境経営計画の取組みと評価

環境経営計画	環境経営計画の取組結果とその評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 ①空調温度適正化・表示 ②照明不要時のOFFの推進 ③エアコン清掃の実施 ④エコドライブ推進 ⑤社用車の点検・整備	真夏、真冬の室温の維持が難しく空調器具の使用が抑えられませんでした。ガリソについては積極的にレッカーや公共交通機関を利用する事で抑えられました。
	次年度の取組内容
	事務所移転の予定があるので電気、水道に関しては、様子を見ながらやるようになります。ガリソに関しては今まで通りレッカーや公共交通機関を利用し節約に努めたいと思います。
2. 廃棄物排出量の削減 ①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③産廃業者との契約書の確認 ④裏紙使用ルールの徹底	事務所移転予定があるので棚や倉庫の片づけや机の整理等進めた為紙ごみが増えました。
	次年度の取組内容
	新事務所でも引続き整理整頓やごみ削減を心掛ける様努めたいと思います。
3. 水使用量の削減 ①毎月のメータの確認(漏水防止) ②節水表示(手洗い場・トイレ) ③トイレの節水	樹木への水やりの回数が今までより少なかったことが減少の原因かと思われます。
	次年度の取組内容
	常に節水を心掛けたいと思います。
5. 本業に関する目標 ①省エネ・省資源の油圧関連装置製造販売 ②経費削減、不良在庫削減	コピー用紙、段ボールの再利用やレッカーを積極的に利用し省資源に努めました。出来るだけ在庫や発送を減らすため商品を直送する様にしました。
	次年度の取組内容
	引続き徹底出来るようにしたいと思います。

6. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
環境基本法	規制値・目標値/無し	遵法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の確実な処理	遵法
下水道法	規制値・目標値/無し	遵法
フロン排出抑制法	簡易点検の実施（四半期毎に1回）	遵法
消防法	消防設備点検	遵法
労働安全衛生法	健康診断等	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2024年11月8日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し

事務所移転の予定が有る為倉庫や事務所内の整理を進めたことで特に紙ごみが増えましたが今後は減少すると思います。電気については空調の管理が上手くいかず抑える事ができませんでした。ガソリンについてはレッカーや宅配業者を積極的に利用し節約出来ていると思われます。水使用についても意識して節水出来ているので引続き出来ればと思います。